

第2回一般廃棄物処理基本計画策定委員会での主なご意見

1. 計画目標の達成状況の評価について

ご意見	事務局としての考え
<p>○計画目標の家庭ごみ排出原単位の評価が「C」とのことだが、コロナという予想外の状況下で「C」でよいのか、という議論はある。数字だけ見れば確かにCだが、他の自治体も同様の状況である。評価を3段階ではなく、例えば4段階にして、「出来なかった」という評価を「まったく出来なかった」「事情により出来なかった」に分けるという検討があっても良い。(江尻副委員長)</p> <p>○江尻副委員長と同様、取組を進めていたにも関わらず前提として考えていなかったことが起こっているので、計画目標の達成状況を「C」とするのはいささか乱暴かな、という印象を持っている。(山根委員)</p>	<p>計画目標の家庭ごみ排出原単位の評価については、今回はあくまで目標数値未達という実態から「C」という評価とした。しかし、次期基本計画における実施状況の評価方法としては、大規模な自然災害や感染症の流行など、想定外の事情により目標に至らなかった場合の評価軸を設けることを検討課題としたい。</p>

2. 次期計画に向けた論点の整理と取組の方向性について (キーワード)

委員からのご意見	ターゲット	キーワード
<p>○SDGs やゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、地球環境、温暖化防止の観点を入れ、大量生産・大量消費からの脱却を謳い込んだ計画にできないか。また、プラスチックをめぐる問題が大きくクローズアップされている。現計画ではそこまでターゲットにしていなかったが、焦点を当てて検討したい。(岩本委員)</p> <p>○時代は常に変っており、かつてはごみ処理事業は衛生保持が主な目的であったが、1990年あたりからダイオキシン問題、現在はSDGs、脱炭素、気候変動の問題に焦点が当たっている。「資源循環型社会」は一つの側面ではあるが、時代遅れではと思う。また、販売店回収などによる「自治体の負担軽減」をキーワードに取り組めないか。(渡邊委員)</p>	<p>地球環境問題への対応</p>	<p>○SDGs ○ゼロカーボン ○プラスチック問題</p>

委員からのご意見	ターゲット	キーワード
<p>○分別の徹底がまだ十分ではない。特に単身集合住宅で資源化できるものがごみに出されるなどが見受けられるので、啓発活動をどうしていくかなど皆さんと考えたい。(長岡委員)</p> <p>○文具店を経営しており、店の建物は2階から上が単身者向けの住宅だが、新規入居者はやはり分別が徹底されていない。実際の捨て方を見てもらうと2~3週間くらいで慣れるようだが。入居時に不動産屋さんや大家さんで言っていたのが一番良いのかなと思う。他の集合住宅でもペットボトルや缶のボックスを常に置いているところから引っ越ししてきた方が、勘違いして収集日に関係なく出してしまう事が多いと思う。(相田委員)</p>	<p>分別の徹底・リサイクル</p>	<p>○広報・PR、啓発活動</p> <p>○新規転入者・単身集合住宅居住者等への周知</p>
<p>○古紙に関して以下を提案したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団回収は有効な手段であり、さらなる確保について皆さんと協議したい。高齢化の問題もあるが継続性の確保に向けた検討をしたい。</li> <li>・ 審議会でも指摘されていたが、個人情報の記載された古紙の回収拠点を設置した方がよいという意見があった。</li> <li>・ 古紙の品質向上に関連し、いつでも出せる拠点を市内に設置し、例えば集団回収業者とも連携していつでも出せるような取組も有効ではないか。(佐々木委員)</li> </ul>		<p>○古紙リサイクル</p> <p>○古紙の品質確保</p>
<p>○イトーヨーカドーではペットボトルや古紙類の店頭回収の仕組みがある。資源化計画の中で、こうした回収拠点の市民への周知を進めていければよいと思う。また、啓発推進計画の関連では、ヨーカドーは来店客が多いので店頭での分別啓発のイベントなども協力できる。事業者としてできる範囲もあると思うが、協力できる範囲で働きかけをしていただければと考える。(岡ノ谷委員)</p>		<p>○販売店回収</p> <p>○事業者との連携</p>

ご意見	ターゲット	キーワード
<p>○枝・草・葉の資源化や食品ロス対策を盛り込んでいるので次期計画にも盛り込んでいただければと思う。(江尻副委員長)</p> <p>○子ども食堂を手伝っているが、現在フードバンクで食品を集めることが大変になってきている。イトーヨーカドー等の事業者の方で、例えばメーカー試供品の提供など、お願いできないかと思う。(黒木委員)</p>	発生抑制（食品ロス対策、せん定資源化）など	<p>○食品ロス削減</p> <p>○枝・草・葉の資源化</p> <p>○事業者との連携</p>
<p>○市民・事業者・行政の協働のあり方、ごみ問題に取り組みたい市民や集団回収団体との連携が重要である。</p> <p>また、「リサイクル協力店」の形骸化がかなり前から言われているので、エコショップなど名称も含め、取り組む事業所とは大々的に協力していきましょう、市民も一緒に盛り上げましょう、という点を計画に盛り込んでいきたい。(江尻副委員長)</p> <p>○市がどれだけ立派な計画を作っても、市民・事業者との協働・連携が無いと実効性が無い。次期計画に、具体的に連携の仕組みを盛り込めて行けたらと思う。いま、市内の中学校でもSDGsに取り組むなどあり、環境教育も盛り込んでいきたい。(岩本委員)</p>	市民・事業者との連携	<p>○環境教育</p> <p>○産学官民の連携・協働</p>
○災害廃棄物に関し、今後の地震・水害などに備え、項目建てを行って計画の中に盛り込んでいけないか。(江尻副委員長)	災害時の対応	○災害廃棄物処理計画